

スーパーリージョナルハイスクール (SRH) 最も地域と密着した高校!を目指して



緊張した議会での発表



那須町議会にて

NATAKA
no.31

那須高校タイム

那須高校は、将来、地域で活躍する資質・能力や協働意識を高め、地域の未来を担う人材の育成を図るため、総合的な探究の時間や地域連携事業などに重点を置いたカリキュラムの開発、外部機関との連携による先進的な地域連携教育を実施している学校です。このような取り組みを行う学校をスーパー・リージョナル・ハイスクール(SRH)と銘打ち、当校では、全国で最も地域と密着した高校を目指しています。今年度これまで行ってきた那須高校の取り組みを紹介します。

12月には那須町議会にて那須高生による「高校生模擬議会」が開催されました。那須高校のさまざまな教育活動を通じて見えた那須町の課題を、人物図鑑作成、家庭クラブのボランティア活動、小規模校サミット参加、文化祭、リゾート観光科の5つの視点から発見し、それを解決するための具体策を提案・プレゼンテーションしました。議会という町政の中心でもある場で発表できたことは、生徒たちにとって貴重な経験であり、町と高校が密着しているからこそ実現できた機会でした。

昨年度に続き、大分県由布市で開催された「第12回全国高等学校観高サミット」には、リゾート観光科の生徒4名が参加し、「ちよつと寄道、東山道」



黒田原小の掛け算九九ボランティア



出前授業での学校紹介!



家庭クラブは今まで活動を発表!

義経街道探訪」と題して、芦野・伊王野地区への誘客プランについて発表し高い評価をいただきました。

また、かめまケーブルテレビホールで開催された「栃木県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会」に、本校の家庭クラブも参加しました。「私たちが地域のためにできること」をテーマに、これまでの活動をまとめ、本大会のテーマである「紡いでく地域の絆みんなの笑顔」に沿って、本校ならではの地域連携プロジェクトを発表してきました。

さらに、「出前授業」では那須中央中学校や那須中学校を訪問し、生徒会が中心となって那須高校の魅力をPRしました。「掛け算九九ボランティア」では、今年度も数回にわたり黒田原小学校の児童に掛け算九九を教える活動を行いました。

このように那須高校では、県内外で学校の取り組みを積極的にPRしたり、対外活動を実施しています。その基盤となるのが、地域と深く関わる地域連携教育です。「地域資源を活かした探究活動と、一人ひとりの個性に応じた学習を通して新たな可能性を見つけ、地域社会を支える人材へと育成する」ことが、那須高校のスクールミッションです。これからも地域社会とのつながりをより一層深め、生徒たちが地域の未来を担う存在となれるよう、さらなる発展を目指してまいります。

(コーディネーター 佐藤達夫)

栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL / 0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と高校魅力化コーディネーターが共に作るページです



大分県で那須をPRするリゾート観光科の生徒たち